

各位



2024年5月15日

会社名：スターティアホールディングス株式会社

代表者名：代表取締役社長 兼 最高経営責任者 本郷 秀之

(コード番号 3393 東証プライム)

問合せ先：取締役 植松 崇夫

(TEL：03-5339-2109)

配当方針の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり配当方針の変更について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当方針の変更について（下線部が変更箇所）

（変更前）

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要な政策と位置づけているとともに、経営基盤及び競争力強化のため、必要な内部留保に努め、中長期戦略に基づく株主還元の強化に努めてまいりたいと考えております。

こうした考えのもと、当社の剰余金の配当につきましては、成長・発展に必要な資金を内部留保より賄いつつ、財務健全性の維持に努め、連結業績や市場環境、これまでの配当額・配当性向等を総合的に勘案し、長期的に安定した配当を行っていくことを基本方針とし、連結ベースの配当性向 35%を目途としております。

（変更後）

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要な政策と位置づけているとともに、経営基盤及び競争力強化のため、必要な内部留保に努め、中長期戦略に基づく株主還元の強化に努めてまいりたいと考えております。

こうした考えのもと、当社の剰余金の配当につきましては、成長・発展に必要な資金を内部留保より賄いつつ、財務健全性の維持に努め、連結業績や今後の事業展開などを総合的に勘案し、累進配当を継続的に実施すると共に、連結ベースの配当性向 55%を目途とした基本方針としております。

（注）累進配当とは、原則として減配せず、配当維持もしくは増配を行う配当政策をいいます。

2. 変更時期

2025年3月期より適用いたします。

3. 変更理由

当社は、2021年3月期より、デジタルマーケティング関連事業において、サブスクリプションモデルにビジネスモデルを転換し、経営資源を集中してまいりましたが、2024年3月期においては、大型の開発投資と多額の広告宣伝投資をせずとしても成長できる顧客基盤と体制構築が整ったことで、セグメント利益の黒字化が叶い、サブスクリプションモデルとして更なる利益化の礎を築くことができました。

また、ITインフラ関連事業におきましても、オーガニック成長に加え、M&Aによる顧客基盤の拡大やアライアンスの推進により安定的な利益拡大を遂げることができております。

これらの状況を踏まえ、今般、より一層の株主の皆様への利益還元重視の姿勢を明確にする為、累進配当を導入し、配当性向55%とすることといたしました。

なお、2025年3月期配当予想につきましては、本日公表の「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以上